

キャッシュレスの普及加速に向けた基盤強化事業

令和4年度予算額 0.6 億円（1.5億円）

商務・サービスグループ
キャッシュレス推進室

事業の内容

事業目的・概要

- キャッシュレス決済の推進は、消費者の利便性向上、店舗の効率化・売上拡大等に資する重要な取組です。
- キャッシュレスの更なる利用拡大のためには、加盟店の手数料の負担感が十分低く抑えられることや、便利で新しいサービスや技術がタイムリーに取り入れられ、消費者が安心して利用できる決済システムが整えられることが必要です。
- そこで、本事業では、中小加盟店の手数料の適正化等に向けた業界構造の変革や、決済事業者のセキュリティ対策向上・消費者の意識改革に向けた実態調査・広報等を行います。
- 更に、あるべきキャッシュレスの将来像を検討します。

成果目標

- 本事業の効果も含めて、2025年までに民間最終支出に占めるキャッシュレス決済比率40%、将来的に80%を実現します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

① 業界構造の変革に向けた実態調査

- 令和3年度に検討を行う手数料の見える化等の取組について、国際カードブランド、決済事業者、加盟店等の各ステークホルダーに与える影響等を調査し、その結果を踏まえた方策を検討する。
- コスト低減が期待できる協調領域については、業界一体で取り組むよう後押しを行う。

② 安全・安心なキャッシュレス決済に向けた取組み

- 近年のキャッシュレス決済に関する不正利用の増加を踏まえ、消費者が安心してキャッシュレス決済を利用できるよう、調査を行う。
- 犯罪事例や決済事業者のセキュリティ対策について周知・広報を行うことにより、消費者の不安軽減・意識向上を目指す。

③ キャッシュレスの将来像の検討

- 足元のキャッシュレス決済の普及状況を踏まえ、更なる普及促進のための適切なKPIや、キャッシュレス決済の将来像を検討する。